

科目名	単位数		対象年次	履修	開講回数	必要 面接時数	添削 指導回数
化学基礎	前期	1	2年次	選択 (必履修)	12	5	3
	後期	1			12	5	3
使用教科書	東京書籍 702 新編化学基礎						
科目の概要	物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、科学的に探究しようとする力を養う科目です。						
年間 学習 計画	学習内容		主な学習のポイント		面接指導	添削課題	
	・化学とは何か ・物質の成分と構成元素 (P7~P33)		①物質の成分と、分離の方法について理解し、身の回りの物質に興味・関心をもつ ②元素、単体、化合物、同素体について理解する ③成分元素の確認方法について理解する ④状態変化について、熱運動と関連づけて理解する		前期 1~4	No.1	
	・原子の構造と元素の周期表 (P34~P47)		①原子の構造や性質に興味・関心をもつ ②原子の構造について理解する ③原子の電子配置について理解する ④元素の周期表について理解する		前期 5~8	No.2	
	・化学結合 (P48~P79)		①原子どうしの結合の種類と性質に興味・関心をもつ ②イオンの形成とイオン結合、イオン結晶について理解する ③分子と共有結合について理解する ④組成式、電子式、構造式について理解する ⑤分子の形や極性、分子結晶や共有結合の結晶について理解する ⑥金属結合と金属結晶について理解する		前期 9~12	No.3	
	・物質と化学反応式 (P82~P105)		①原子の質量や個数の表し方や、化学反応を化学反応式で表す方法に興味・関心をもつ ②原子量や分子量、式量、物質質量、質量、粒子の数、気体の体積の間の量的関係について理解する ③質量パーセント濃度とモル濃度について理解する ④化学反応式の表し方と、化学反応式が表す量的関係について理解する		後期 1~4	No.4	
	・酸と塩基 (P106~P135)		①酸と塩基の性質に興味・関心をもつ ②酸と塩基の定義について理解する ③pHについて理解する ④中和反応と、塩の種類や塩の水溶液の性質について理解する ⑤中和滴定について理解する		後期 5~8	No.5	
	・酸化還元反応 (P136~P167)		①電池や金属の腐食など、身のまわりの酸化還元反応に興味・関心をもつ ②酸化還元反応の捉え方と、酸化数について理解する ③おもな酸化剤と還元剤の反応について理解する ④金属のイオン化傾向と反応性について理解する ⑤酸化還元反応を応用した電池や金属の製錬について理解する		後期 9~12	No.6	
評価方法	・面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・添削課題（レポート） ・試験（テスト）						
単位修得	・面接指導（スクーリング）は、前期・後期各5時間以上出席してください。 ・添削課題（レポート）を前期・後期各3回提出してください。 ・2年次で2単位修得します。						